

東由利村報

No. 87

1964・8・10
 発行 東由利村役場
 編集 畑山伝二郎
 印刷 KK本間印刷所

初 村 議 会

正副議長などきまる

村議会議員改選後初めての村議会は7月31日全員22名出席の上に開かれました。

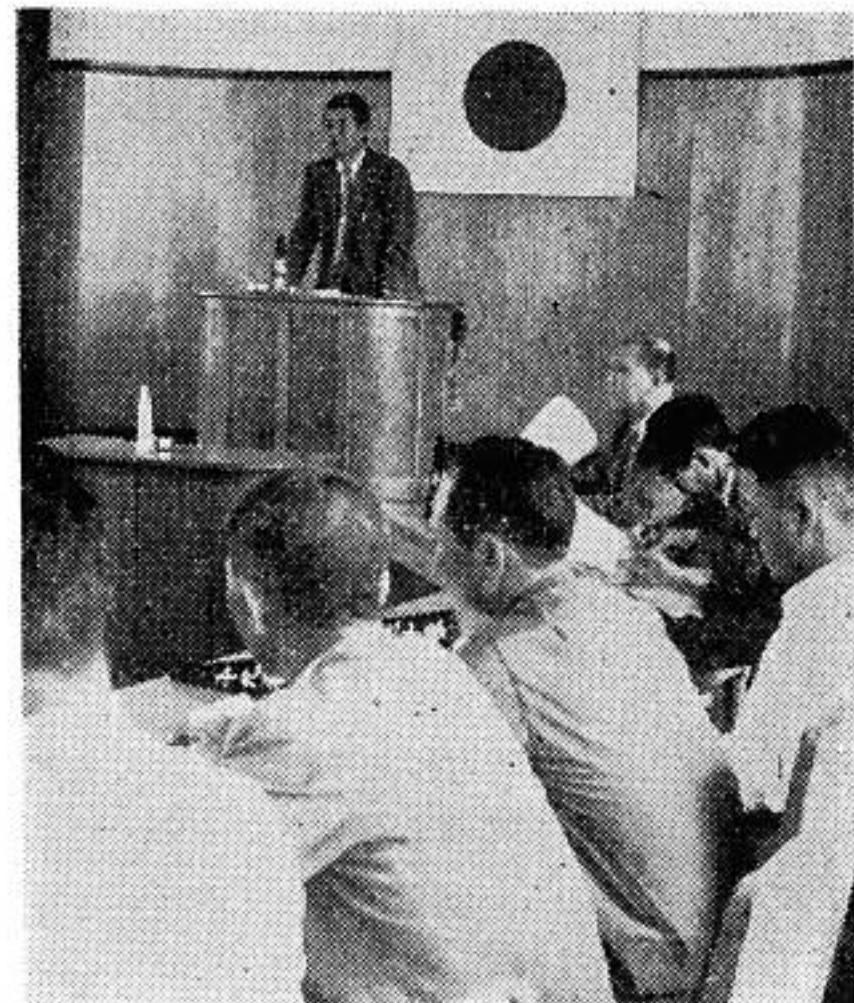
伊東与吉氏を臨時議長としての議長選挙は満場一致の推せんによって佐藤与吉郎と決定、ついで抽せんによって議席を決定しました。この時村長長より、

「村政は住民の望むところに従って民主的に運営されなければならない。議決機関と執行部は各自の責任に於て誠実にその職責をつくすと共に、豊かなる人間関係の結びつきにより、村民の期待にこたえるようにしたい」という挨拶がありました。

それより投票による副議長の選挙を行い、長沢毅氏ときまりましたついで正副議長により常任委員が選任され、各正副常任委員長もきめられました。

常任委員(◎委員長○副委員長
総務)

◎伊東与吉○小松豊・遠藤二三雄



- 川尻幾郎・工藤二三雄・長沢毅
産業・経済
- ◎小松真一〇小松与惣雄・梅津二
三雄・佐藤要次・小野作右工門
佐藤与吉郎
教育、民生
- ◎佐藤謙吉〇長谷山千代蔵・遠藤
兵一・高橋俊一・長谷山喜一郎
土木
- ◎嶽石伊左武郎〇阿部次郎・佐々
木宇一郎・渡辺与七・加藤清
ついで監査委員中議會議員の中か

ら選任する者として小松真一氏の選任に同意を求めて極めて和やかに人事に関する議案をおわりました。

引つき議案第2号39年度一般会計補正予算の専決処分を承認して全日程をおわりました。尚今回の選挙の前、後進に途を開くため、自ら進んで勇退された前議員次の通りです。諸氏の多年の功績に対し篤く感謝の意を表します。

畠山正、畠山富男、大沼一広、小野廣志、遠藤孫助、田代寿治、畠山忠太郎

オリンピック国民運動

オリンピック東京大会が開かれるにあたって、秋田国体を機会に県として物心両面にわたって色々なことをととのえたように、国でも全国民運動として次のような計画をしている。村でもやります。

- ①オリンピック理解運動
- ②国際理解運動
国旗、国歌を大切にすること
本人の品位を保つて外国人とつきあうことなど
- ③公衆道徳を高めること
親切心の普及秩序を守り公共施設を大切にするなど
- ④郷土の美化運動
郷土の自然美、道や川などをきれいにすること
- ⑤健康増進運動

子ども会のねがい

きいてやりたい

7月中に子ども会の面接調査をし

て、それをまとめて見ましたが、大事なところをぬき書きして、みな様にもご一緒に考えていただきたいと思います。

1、集まる場所

神社25、会館14、まわり番10などあとは世話人のお宅や道路などとなっています。

2、どんなことをやっているか

毎日やること

火の用心27、電柱などに花をかざる1、

毎週やること

神社会場道路掃除30、勉強会10

毎月やること

掃除の外は、合併子ども会、反省会6

年に何回かやること

楽しみ会46、遠足22、ソフト
卓球大会など12、生産(イナゴ
山菜取、穂拾いなど)11

などとなっており、火の用心と掃除をとってしまうと子ども会がからっぽになってしまいそうです。

3、子ども会のための施設

会館8、ブランコ3カ所、卓球台2、本3カ所花だん1、

4、申し合せにより実行していること。

よいことばを使う12

集る時の時間を守る。12

道を歩く時は必ず右側を通る5

はき物は必ずそろえてぬぐ。4

川にゴミ屑をなげない。4

紙くずをちらかさない。7

木や畠のなり物をとらない。5

その他 9

この申し合せがどの程度まで実行されているかはまだわかりませんが、これこそこれらの子ども会

の進むべき方向ではないでしょうか。何をやったら…に困っている子ども会です。

子ども会の大きな目的はその社会性を育てのばすことにあるといいます。子どもたち自身が考え出した申し合せのどれもが、それにつながっているのを考えると、学校も親もPTAやその他の団体も、みんなが力を合せ、心をそろえてこのまじめな芽を育てるべきではなかろうか。

5、子ども会のねがい

このような実態の中から子ども達は次のような切実なねがいをのべております。

イ大人達が子ども会え理解を持つて、もっと協力して下さい。16
ロ集る場所と遊び場がほしい。18
ハ卓球台、ブランコ、ボールなど
遊び道具をほしい。22

ニ早く世話人をきめて下さい。11
ホクズ入箱をそなえて下さい。6
ヘ川がよごれて水泳の時気持が悪い。ガラスや瀬戸かけがあつてあぶない。それに景色も悪いから川にゴミ屑をなげないことに

して下さい。7

子どもたちのねがいでもあると共ににごりのない子どもの心にうつった村の姿とも見ることが出来るのではないか。

ボール一つでもという、ひかえめな子どものねがいはかなえてやりたい。川をよごさぬようとのねがいなどは大人は心に恥ぢねばならぬと思うことです。

◎ ◎

◎

議席1番 小松 興惣雄
松沢 52才
農業
当選 2回



議席2番 小松 真一
黒沢 55才
農業
当選 5回
議員歴
産経委員長

議席3番 佐々木 宇一郎
大琴 57才
農業
当選 4回
議員歴
土木委員長

議席4番 長谷山 喜一郎
老方 48才
商業
当選 初回

議席5番 工藤 二三雄
新処 37才
農業
当選 初回

議席6番 渡辺 興七
畠中 52才
農業
当選 3回

議席7番 長谷山 千代蔵
黒淵 60才
農業
当選 3回



議席8番 伊東 興吉
藏 68才
商業
当選 3回
議員歴
総務委員長

議席9番 嶽石伊佐武郎
山崎 58才
農業
当選 4回
議員歴
産経委員長

議席10番 佐藤 要次
老方 53才
製材業
当選 初回

議席11番 佐藤 謙吉
藏 63才
製材業
当選 5回
議員歴
副議長、教民委員長

議席12番 小松 豊
高戸屋 50才
農業
当選 3回
議員歴
教民委員長

議席13番 川尻 幾郎
黒淵 41才
商業
当選 初回



議席14番 高橋 俊一
館合 42才
農業
当選 初回



議席15番 加藤 清
湯出野 44才
農業
当選 2回



議席16番 遠藤 兵一
小倉 43才
農業
当選 3回



議席17番 梅津 二三雄
大琴 50才
農業
当選 3回



議席18番 遠藤 二三雄
宿 46才
農業
当選 初回



議席19番 小野 作左工門
新田 45才
農業
当選 初回



議席20番 阿部 次郎
野田 47才
農業
当選 3回



議席21番 長沢 毅
老方 52才
製材業
当選 3回
議員歴
土木委員長



議席22番 佐藤 与吉郎
館合 59才
林業
当選 6回
議員歴
議長3期



になったら医者にかかる人が急にふえた
3 診療報酬（医者に払う分）の地域差がなくなり、都会並となつたため値上りした

4 来年1月から世帯員全部に7割り給付をすることになつたためその分も含まれている

5 本村の保険税は1世帯平均6,200円（昨年は4,200円）だが郡内他町村の殆んどが8千円以上です

6 保険税を賦課する原則は法律によって次のように定められています

保険税

総額の40%	所得割
"10"	資産割
"35"	被保険者均等割
"15"	世帯平等割

これによつて本年度の税率は次のようになります。

1 所得割（基礎控除後の額の） 1.2%

2 資産割（固定資産税の） 9%

3 被保険者均等割（1人） 410円

4 世帯平等割（1世帯） 930円

次ぎにこれまで3年間の国保関係の村の収入支出を見ますと、(39年度は予算)

国保税の改正

国保税は昨年にくらべて5割り近く高くなつたがそのわけは、

1 昨年10月1日から、世帯主には医療費の7割りが給付されることになり（これまで5割り）そのふえた分が今年度から平年化（1カ年分を計上すること）された

2 世帯主に7割り給付をすること

①保険税収納額 ②国庫補助金
37年 6,124,894円 7,037,666円
38年 6,225,311 7,491,165
39年 8,994,000 8,270,000

③医療費保険者負担分

37年 9,798,975円

38年 11,980,161

39年 13,584,000

①はみなさんから納めた税金②はこれに対する国からの補助金、③は村が村民のために医者に支払った金額です。

稻の作況調査

平年作より良

8月3日調査員遠藤徳太郎、佐々木宇一郎、小野作右二郎、高橋重助、渡辺隆蔵、佐藤一彦、佐藤十内の諸氏によって第一回の作況調査が行われたがその結果と今後気をつけなければならぬことについて、

○概況

今年の稻作は健康な稻づくり運動の盛り上りもあり、健苗育成、早植と比較的順調であった。また6月下旬から7月中旬にかけての低温、日照不足があり、葉イモチ病の大発生が心配されたが、病害虫防除の徹底と好天に恵まれ、被害の発生はごく一部に見受けられる程度であった。生育状況は全村的にみて草の伸びがよく、茎数も多いので、今後の天候さえよければ平年作を上廻るものと考えられる。

今後の稻作管理について

秋田地方気象台の8月から10月までの長期予報によりますと、8月は寒暖の変動が大きいようですので、今後は特に天気予報に注意しイモチ病の防除、稻の保温管理に手落ちのないようにすること。

①気温の低い日は、急いで水を深

目に張り保温につとめ、かけ水のつめたいところではう回灌水、分散灌水などによる温水管理によって低温から守るようにする。

②気温の変動の場合は最低温度の下り方に注意すること。

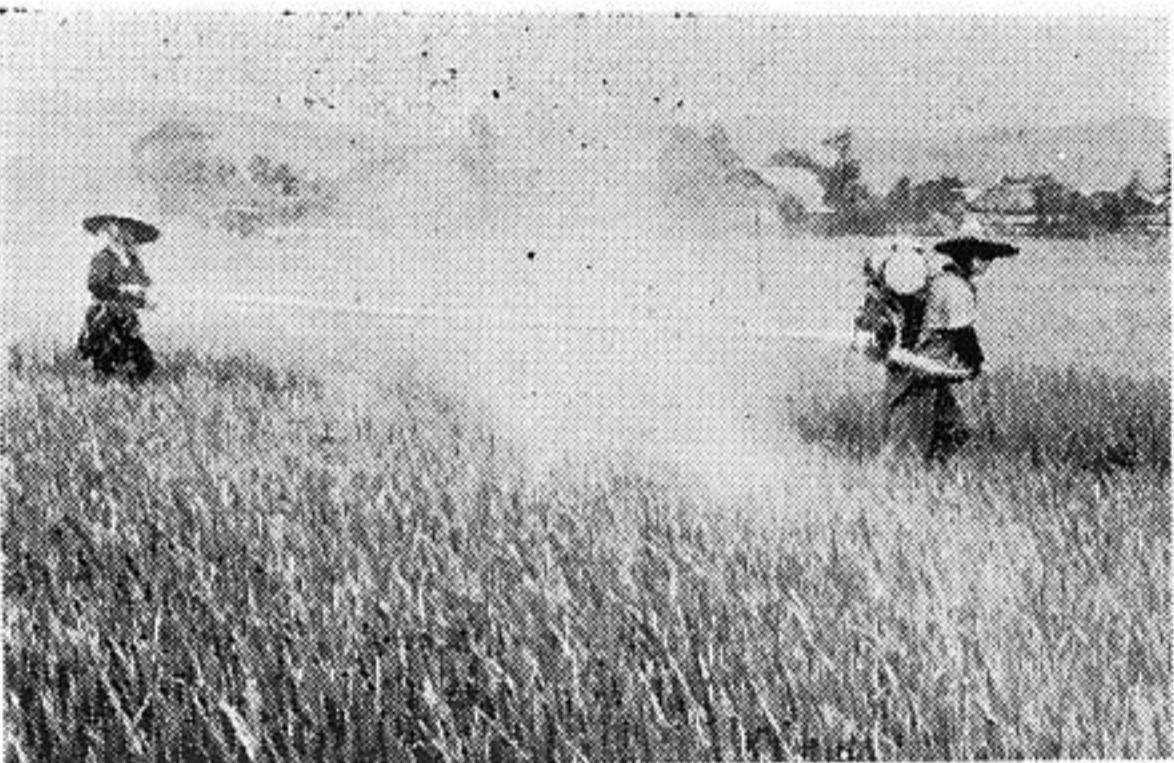
③稻は全般的にやや軟弱に育っているので、日光通風などに配慮し障害となるものを取除くこと。

④ヒエぬきによって根が切れたり茎や葉がいたんだりしますと、生

10A当たりの規準は4キロ穂の出た田には開花時間（午前9時から午後3時まで）はさけること。

ハ穂首イモチ病を防ぐには最小限はしり穂時、穂ぞろい時、穂かがみ時に防除を行わなければならない。

⑥倒伏防止について
土がやわらかくて根元がゆるんで倒れるものは中干しの効果がある強風に対しては深水をして防ぐ



育がおくれたりイモチ病が発生したりひろがったりするおそれがありますのでよく注意すること。

⑤イモチ病防除対策

今までのところ葉イモチ病の発生は、平年よりも少いようであるが、これは梅雨明けがおくれたことなどにもよることで、ひどくはないが全面的にかかっていること低温によって病班の育ちがおさえられて來たこと。小さな病班がかなりひろがっていること。などから首イモチ病に移る心配が多いので穂ばらみ期、穂揃期の防除は必ずやること。

⑥薬剤の撒布について

イ薬剤の量を減らしてはならない

会員として、決定までの苦心と努力から専門の農政問題に移って、農業講造改善は結局農民一人々々の自覚と奮起が根本だと結ばれた

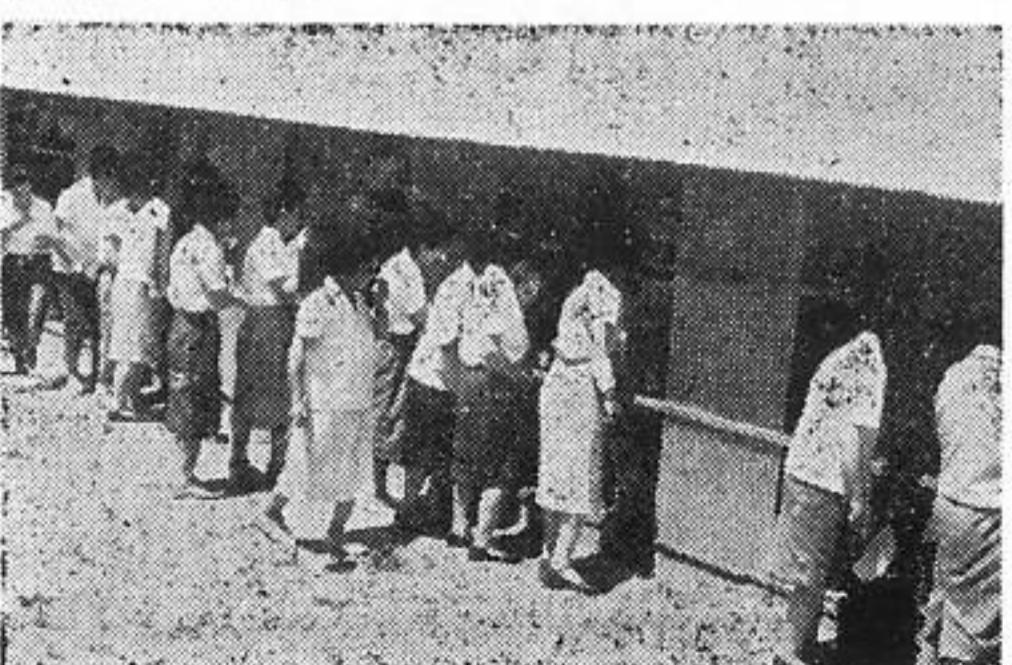
聴衆70余名は、米価問題は勿論、本村を貫通する国道大船渡一本荘線や、これにつながる村内道路の県道昇格など、お話を身近かな問題にふれるので国の政治と自分達のつながる面の大きいことに認識を深めた。

消防訓練

目ざましい進歩のあと

昭和39年度本村消防訓練は、7月30日午前9時より、台山グランドで行われた。

この日快晴に恵まれ30度近い暑さであったが、十分な訓練を積んでおり、各分団とも深い自信を持って張り切っているので、終始いささかのゆるみもなく、十分に訓練効果を發揮して、午後6時近く、9時間にわたる訓練をおわった。今回の訓練大会の特色は、大琴、玉米、住吉の婦人消防隊を始め村民多数の参観のあったことと、練習量の大きいことで、精神、技術共其の進歩の著しいことは審査官も激賞していた。



審査の結果

総合第1位、
第2位、
第3位、

点検及び小隊訓練

第1位、
第2位、
第3位、

ポンプ操法及び注水訓練

第1位、
第2位、
第3位、

尚7分団、5分団は8月20日の本荘市由利郡消防競技訓練大会に出場する。

袖山婦人学級

移動学習

袖山婦人学級（文部省委嘱）では7月30日移動学習を行ないました。これは教育庁由利分室の猪岡先生と小松社教主事との合作による周到な計画によって行なわれたもので、参加学級生は40名で、午前7時大琴発、最初に子吉公民館をたずねたが、予め打ち合せてあったので待ち受けていた先方の婦人方と交流会を開いて短い時間ながら心からなる親しみをもってむかえてくれた真心に感謝して、同じく子吉の葛法公民館にむかった。ここは家庭教育学習できているところです。西目公民館ではそのりづばなのにおどきながらライスセンターなどの設備を見学し、金浦の公民館でも参観と交流により、ためになる学習をした。

贈与税の改正

本年1月1日から

贈与税が次のように改正されました。

①基礎控除が引上げられて40万円（これまで20万円）になりました。
②農地等を贈与した場合の納期限の特例（相続の開始を知った日の翌日から6ヶ月間）がもうけられました。

③対象となる農地の面積は、贈与者が農業の用に供している農地（田、畑）の全部の面積や採草地、放牧地の内3分の2以上の面積である。

(1)適用期間は39年1月1日から43年12月31日までの間に贈与されたものに限る。

(2)適用を受ける者の資格は
※贈与者については農地の贈与をした日まで、引き続き3年以上農業を営んでいた個人で、この適用期間中に農地等の贈与を行っていないこと。

※贈与者については贈与者の推定相続人のうちの一人で、次の要件にすべて該当するものであること

イ 満20才以上であること

ロ 贈与を受けた日まで3年以上農業に従事していたこと

ハ 贈与を受けた日から農業経営を行なうこと

社教だより

- 7、10 住吉、老方家庭教育学級開講式 婦人会旅行
7、13 集合セミナー第2日 (進藤博太郎)
7、16 玉米婦人学級 (水上チカ)

子)

- 7、20 蔵小PTA学級 (本荘高校長)
連合PTA講演会 (玉米中、中村秋大教授)
7、23 ゼミナー (板戸)
7、24 蔵若妻会学習会
7、25 ゼミナー (新沢)
7、27 " (黒沢)
7、28 " (稻作)
7、30 袖山婦人学級 (文部省委嘱)

研修旅行、(本荘市子吉葛法公民館、西目公民館、金浦町公民館、奈曾の滝、蛸満寺)

板戸部落民の視察

板戸部落では昨年部落づくりの熱意から草地5反歩の手掘り造成や牧道の工事に総力を挙げて努力したが、引き続き事業を進めるために話し合いをしたいという強い要望があったので、村からは経済課長公民館からは二名参加して話し合った

が、何んといつても米づくりが第一であるから、専門家の指導を受けて化学的メスを入れてもらって板戸の低位収穫を引き上げる次には畜産を取り入れるために草地をひろげる。

桑を植えて養蚕も取り入れて見たいなど熱心に話し合った。

実地見学

この時の申し合せによって部落民11名が現地学習することになり先ず若林の放牧地に行きました。脊丈に伸びた牧草の中を松の大木のある丘にのぼって、40頭の見事

ゼミナールだより

開校以来日々浅いけれども、ゼミナールに集まる人々は実に熱心です。コース別学習ではゼミの本質に従つて、理論と実地を同時にや

下 上
板戸の若林見学
ゼミナール

っております。

稻作コースでは田圃に行って一々稻を手にかけて指導するのですから、稻作りは即座に身についたも



のになるし、酪農コースもそとのおりです。

この人々の熱心にこたえるために指導陣もまた真剣です。ゼミのある日のために、みんなが集まって夜にかけての計画にがんばっています。

今度の稻作コースでは、この間第一次作況調査のために全村を調べてあるかれた調査員の御協力を願って村の稻作の実体や、稻作りについて指導してもらうことにしており、酪農コースでは朴の木沢放牧場や、八塩育成施設、佐藤八郎氏の酪農経営の実際について、親しく現地に出向いて実地の研修をすることになっております。

めんどうな労働日誌なども書きつづけております。

一方、黒沢、新沢、板戸などの部落学習団では、まことに固い団結のもとに、部落づくりの夢をえがいて、部落総ぐるみの努力をつづ

けております。

役場事務分担一部変更
8月1日付

統計係兼庶務係 (用度貯蓄)

森川昭 児
志村惣一郎
畠山良一
小松与一郎
八嶋保
遠藤忠二郎
菅原賢治
千葉アイ子

由利郡青年会球技大会

本村青年会優勝

8月2日由利郡連合青年会では西目中学校と公民館を会場にして球技大会を行ったが、本村青年会は卓球とバスケットに優勝、女子排球は第2位となり、4種目の総合優勝を獲得した。

第6回東由利村 社会人野球大会

期日、8月15、16日

会場、台山グランド

7月4日の野球協会役員会で決定した大会の組合せ下記のとおり

A グランド		16日		B グランド	
5	16日	3	4	3	4
15日	15日	15日	15日	15日	15日
1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	
玉東	東玉	玉法	蔵新	老袖宿	
由中	由米	米内	新青	方山	
利教	利青	青農	青農	ク青	
O職員	後年	農業	青年	ラ年	
B	場会	協会	会	ズ町	ブ会